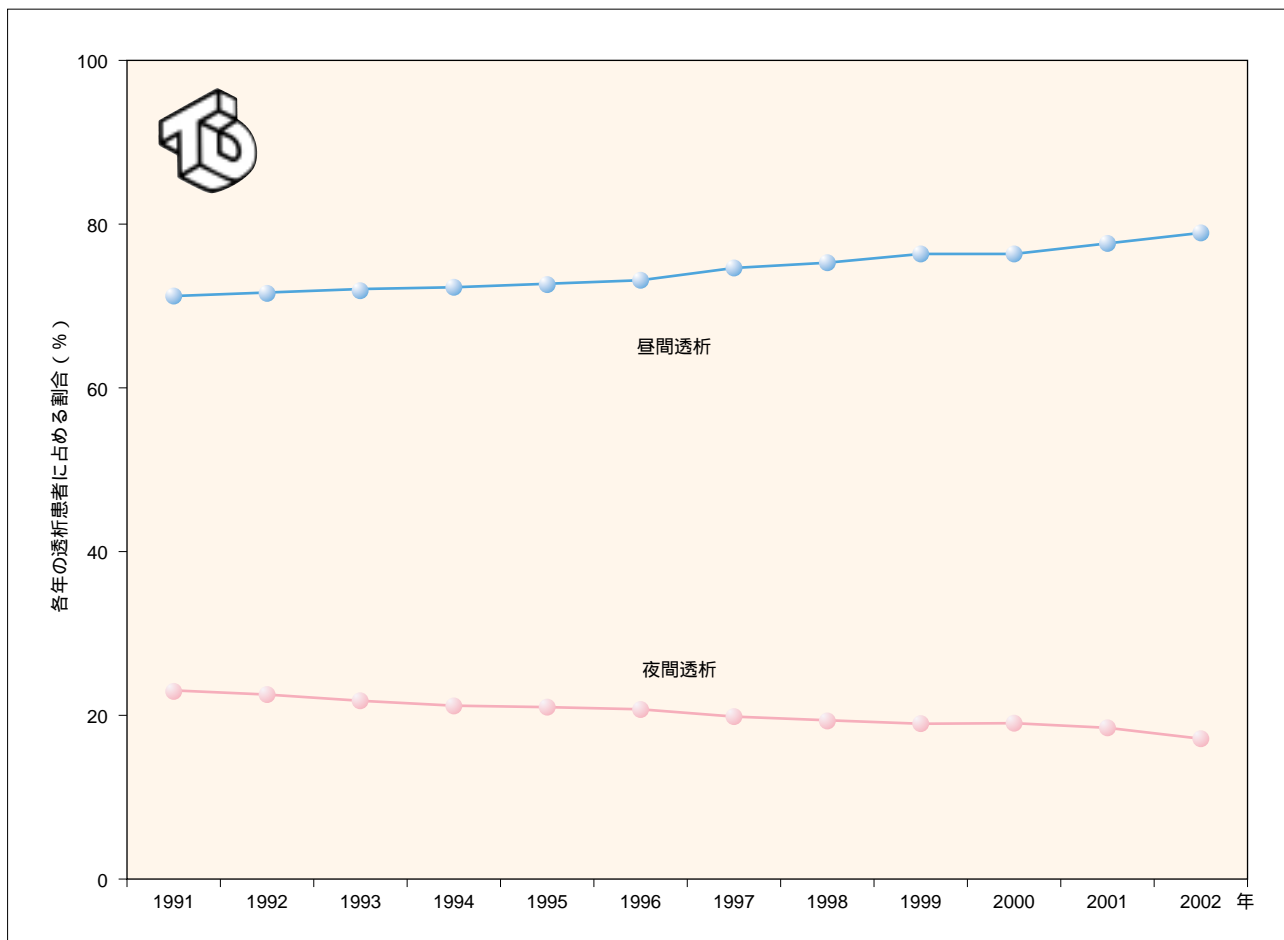


### 3) 透析パターン

#### (2) 施設調査(シート1)に基づいた「昼間透析」「夜間透析」患者の占める割合の推移(図表28)



#### 解説

##### 治療方法別

治療方法に関して集計した結果を以下に示します。

従来よりシート1を用いた施設調査では「昼間透析」「夜間透析」として透析パターン別に患者数が調査されています。この調査結果によれば「夜間透析」患者数は年々減少してきており、「昼間透析」患者数が年々増加してきています。

今回の調査では透析実施状況がシート2、3、4を用いた患者調査で初めて調査されましたが、従来の施設調査による結果と同様、週3回透析を実施している患者では、3回とも昼透析を施行されている患者が多数を占め(血液透析患者で65.7%)、3回とも夜透析を実施している患者は少数にとどまりました(血液透析患者で11.9%)。

昨今、従来の昼透析の患者が終了した後、夜透析が始まる前に引き続いて別の患者の透析を行う「中間透析」を実施する施設が広がってきています。今回の調査では、その実態が初めて明らかにされました。その結果、施設血液透析、血液透析濾過、そして血液濾過において、「中間透析」を行っている患者数は「夜透析」患者数を既に凌駕していることが明らかにされました。

中間透析普及の背景として、昨今の保険点数切り下げに伴う透析病床運転効率向上意図、あるいは増大しつつある昼透析適応患者への対応のため、などが推測されます。